広報伊方町

発行所
愛媛県西宇和郡
伊方町
編集
伊方町町長公室
印刷所
尾上印刷所
八幡浜市天神通
電話②0091番

夏休みを満悦

日本列島は南高北低の夏型の気圧配置におおわれ、焼けつくような真夏の太陽が一日中照りつけ、寒暖計の水銀柱はウナギのぼり、連日三十度を越す炎天下です。全国では、海に山に涼を求めて人の波。脱都市からの人口流入で過密地帯となっている。

恋しい水辺では、カッパ連も、この時とばかりプールに海水浴場に水しぶきをあげ、夏休みを満悦しています。どの顔、肌も真っ黒、元気に泳ぎまわる姿は健康そのものです。

カッパ連水しぶき

連日の暑さでプールはカッパ天国。水とたわむれるよい子たち。（伊方中プールにて）

地籍調査

現地作業はじまる

町では、ことしから十カ年計画で、町内の地籍調査を行なうため四月一日付で国土調査課を新設しましたが、いよいよ現地作業が開始されました。

まず、トップをきって四十七年度は大浜、中之浜両地区一、七〇平方キロメートル（約百七十町歩）を実施します。

この調査事業は、土地所有者の正しい境界杭の設置により、地元推進委員、伊方町、測量関係者一体となって新しい地籍図、地籍簿をつくり、登記簿として所有権を保護し、こんごあらゆる土地問題の基本となるものです。

関係地区には、現在境界杭、所有者の標示杭がたてありますので、破損などしないようお互いに注意しましょう。

なお、この調査測量の基点となる三角点測量のため国土地理院より技師が来町し、八月三日から約一カ月間、町内各所で測量を行なっていますので土地所有者のみなさんのご協力をお願いします。

本年度が初年度ですが、こんごの実施計画は、つぎのとおりになっています。

○昭和四十七年度
大浜、中之浜地区

○昭和四十八年度
黒島、仁田之浜地区、河内、湊浦、小中浦の伊方大川以南

○昭和四十九年度
伊方越、亀浦地区

○昭和五十年度
河内、湊浦の残り、中浦地区

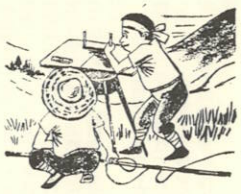
○昭和五十一年度
川永田、豊之浦地区、小中浦の一部（川永田南浦）

○昭和五十二年度
アラカヤ、コチワキ、大字二見乙番地区

○昭和五十三年度
浦安、高見、タユタ、アキツ長崎地区

○昭和五十四度
大字二見甲番地区

○昭和五十五、五十六年度
登記、整理



ビン・カン類の収集

決まった日・場所へ

ビンやカン類の不燃物収集については、各部落区長さんを通してお願いをしていますが、部落によっては周知徹底していないところがあるようです。

不燃物収集について各ブロック別に収集することになっています。そこで、もう一度収集計画を別表のとおり掲載しますので、決まった日に、決められた場所へだしてください。

◎Aブロック
大浜、中之浜、仁田之浜、河内、湊浦一、二

◎Bブロック
小中浦、中浦、川永田一、二、亀浦、伊方越、豊之浦

◎Cブロック
奥、向、畑、須賀、久保、西、二見、加周、田之浦、古屋敷、大成、鳥津

収集日の当日は、午前八時三十分までに各部落で決められた場所へだすこと。

この場合はビン、カン類が飛散らないようにし、ビン類とその他の物を別々の袋に入れてください。

収集日の変更

雨天、その他やむを得ない理由で収集できない時は、その地区のみをCブロックの翌日に変更します。

不燃物（ビン・カン類）収集計画表

ブロック＼月別	9	10	11	12	1	2	3
Aブロック	1日	2日	1日	1日 29日	8日	1日	1日
Bブロック	4〃	3〃	2〃	4〃 29〃	9〃	2〃	2〃
Cブロック	5〃	4〃	6〃	5〃 29〃	10〃	5〃	5〃

死亡交通事故

8月が最高

県下の昭和四十六年中の交通事故による死亡事故は二百件二百十五人で、前年より二十八件二十六人減少しました。

昭和四十六年中の死亡事故の特徴は、

一、月別には
八月の二十二件二十七人が最高で、最低は四月の十件十人となっています。

二、時間別には
前年と同じ午後七時から九時までの間が最も多く、前年にくらべて多くなっているのは午前九時から十二時までの間、少くなっているのは、早朝、夕方、深夜となっています。

三、原因は
安全運転義務違反（わき見など）によるものが全体の四十一・五％と相変らず多く、ついでスピード違反、酒よい運転、追越違反によるものとなっています。

前年より増加しているのは、スピード違反によるもの、歩行者側の不注意による「とびだし」などとなっています。

四、道路別には
国道とくに十一号線の事故がいちじるしく減少し、市町村道の事故が増加しています。

また、道路の形状別には非市街地の交差点に増加しています。

五、類型別には
歩行者事故、自転車事故が減少し、車対車および車単独の事故が増加しています。

六、車両別には
普通乗用車の六十一件、ついで普通貨物車三十五件、原付二種二十七件が多く、傾向は前年とかわりません。

八月は死亡交通事故が最高です「いねむり運転」「過労運転」が多発しますので、みんなで注意しましょう。

カメラルポ

町見中 地鎮祭

町では町見中学校の改築工事の無事を祈る地鎮祭を七月二十二日建設現場で行ないました。

地鎮祭には、町長、議長、副議長、町議会議員、教育委員長、教育長、PTA役員、生徒代表ら教育関係者や、施工者の奥村組、設計監督者の大建設計工務など多く の方々が参列して、玉串奉典、町長のクワ入れ式が挙行されました。

特に同校を代表した生徒（男女各一名）の打つかしわ手の音は、校庭内にひびき印象的。

いよいよ待望の鉄筋コンクリート三階建校舎の建設工事が、明年二月中旬完成をめざし、スタートしたわけです。

▶町長のクワ入れ式

町見中生徒代表の玉串奉奠

〔自〕〔衛〕〔官〕〔へ〕〔の〕〔道〕

◇防衛大学
応募受付　十月～十一月上旬
試　験　第一次　十一月下旬
　　第二次　十二月下旬

幹部自衛官を養成（四年）
在学中月額二万円の手当が支給される。

◇海・空航空学生
応募受付　八月～九月
試　験　第一次　十月上旬
　　第二次　十月下旬
（空のみ）第三次十二月上旬

バイロット（幹部自衛官）を養成（六年）、在学中も階級に応じて給与が支給される。

◇二等陸海空士
応募受付　七月以降常時
試　験　十月以降常時

任期制隊員初任給三万円。
将来中堅の曹、幹部への昇進の道も開かれる。
くわしいことは、役場町長公室までお問合せください。

湊浦集会所を改築

湊浦の集会所が改築されます。

総建設工事費九百九十五万円の費用を投じ、鉄筋コンクリート二階建（延二百一平方メートル）のモダンな姿に生まれかわります。

現在の建物は木造平屋建で大正十二年に建設されたもので、約五十年という長年月の風雨で老朽化したのと、湊浦は町内で一番大きい地区で集会等にも狭少となり改築するはこびとなったものです。

建築場所は、現在の建物跡で完成予定は明年一月中旬です。

また、施設設備として図書、アンマ機、石油ストーブ、屋内、屋外遊具等を購入するため二十一万円を予算化しています。

胃の集団検診をうけましょう

あなたが、がんにならないことを誰が保証してくれますか。

働きざかりの三十五歳から五十五歳までで死んだ人のうち四人に一人はがんだといわれています。

日本人は諸外国とくらべて圧倒的に胃がんが多く、全がんの半数近くが胃がんです。この胃がんを制圧するために生まれたのが、胃の集団検診車です。

県の胃集団検診車が、伊方町へは、つぎの日程で各地区を巡回しますので、胃ガンの早期発見のために、三十五歳以上の方は是非受診してください。

◎検診月日
九月五日～十二日までの八日間

◎検診場所
各校区別に実施しますが、はっきりした場所は、後日区長さんを通じ連絡します。

◎検診時間
午前七時～十時まで

◎検診料
料金八百円のうち町より四百円助成し、個人負担はその半額の四百円です。

自覚症状はあてにならない

胃がんは、自覚症状がないことが多く、症状があったとしても一般の胃病に似たような症状ですから、がんかどうかはわかりません。

早く発見して早くなおす

胃がんを防ぐクスリはまだありません。早期がんといわれるうちに発見して早く手術する。これ以外に方法はありません。がん細胞がリンパ液や血液の流れにのってからだの別の部分へとび火（転移）するとちょっと手おくれです。

どんな検査をするのか

胃集団検診の方法はX線間接撮影が主です。胃を空にしておき（水おためです）バリウムという白い液を飲みます。そして、いろいろな方向から五～六枚撮影します。

どのくらいみつかるか

胃の集団検診には、自覚症状のある人を診察する病院の場合にくらべて、早期胃がんが十倍も高い率で発見されます。

早期がん

胃の粘膜内だけにとどまっている胃がんをいいます。この時期に手術すれば、百%助かります。粘膜をとれると、完全治療が期待できなくなります。

安心すしすぎても困ります

一年後にまたどうぞ。

自覚症状がなくても定期的に検診をうけることが大切で、一度受けたからあとは大丈夫だというのは大きなまちがいです。

青年団

室ノ鼻海水浴場を清掃

伊方町青年団協議会（坂戸福一郎会長＝大浜）では七月八日川永田の室ノ鼻海水浴場の清掃を行ないました。（写真）

これは、今夏の同海水浴場オープンを目前にして海水浴場がゴミ類でよごれがひどく、これをみた青年団が自主的に清掃をかってでたものです。

当日は男子団員二十八人が参加し、海岸一帯に散在しているゴミを集めて焼却したり、広場にはえている雑草をカマ、草刈り機で刈り取りみんなの力で、みるみる美しい海水浴場になりました。

同青年団協議会は、こうした善意の清掃作業を昨年につづいて実施したもので、このような青年団の奉仕活動に対し町民より深く感謝されています。

海水浴場清掃に参加したある団員は「これで、どうやら海水浴場らしくなりました。しかし、また台風等の強風波浪でゴミが押しよせてくる心配が多分にあります。

ゴミ類のほとんどは人間様が海や川へ捨てたものです。海や川にはゴミ類を捨てない習性が一般に普及しなくてはなんにもなりません」と嘆く。

自然環境を守り美しくする運動がさけばれていますが、海や川の美しさを保ち守るのは、わたしたちのつとめです。

自分一人くらいは……という安易な考えは、なくすることが大切です。

ワン公はすてないで

役場で買います

一匹　二百円

事情あって犬のいらなくなった方、犬をするのはちょっとお待ちください。その犬が小さくてかわいい犬であれば無が拾ってくれるかもしれませんが、ほとんどの場合、野犬となって、世間にいわくをかけることになります。

飼い犬は、愛情をこめて飼育し不要となった犬は飼い主の責任において始末する。これが愛犬家のルールです。

役場生活環境課では、不要犬を一匹二百円で買上げます。

役場または町見張所へ、つぎの日の午前中か前日によくつないでつれてきてください。

九月四日（月）二十二日（金）
二十九日（金）
十月六日（金）二十日（金）
二十七日（金）
十一月十日（金）二十四日（金）
十二月四日（月）十五日（金）
二十四日（金）

善意箱

加周保育所へお手玉、雑きん

加周保育所へ加周の渡辺アサヨさん（七十七才）よりお手玉、雑きんが寄せられました。

渡辺さんは独りぐらしのおばあさんで、昨年から数回にわたり同保育所へお手玉（百個）雑きん（数十枚）をかわいい子どもたちの何かに役立ててほしいとおくられたものです。

同保育所のよい子たちは、このあたたかい善意のおくりものに感謝しています。

紙上より厚くお礼申し上げます。

ちびっ子紹介（4）

足利勇二ちゃん（中浦）

足利勇二ちゃん（中浦＝義文氏二男）は、現在二歳七カ月です。

イタズラもまた、かわいい年ごろです。

カッパ天国の陽気つづき、今日は海水浴ならぬ日光浴としゃれこみました。

生まれたままの姿の全裸。二月天下晴れての　わがもの顔。水浴びの楽しさを満面にあらわした作品です。

（あなたのお子さんも、ちびっ子紹介欄に）

質問コーナー（2）

光化学スモッグとは

【問】

現在、東京、大阪など大都市部で問題になり、新聞紙上やテレビなどで報道されている「光化学スモッグ」とは

【答】

工場の排出ガスや自動車の排気ガスなどの中に含まれている炭化水素と窒素酸化物が、太陽光線の作用を受けて、光化学反応を起こし、目やのどを刺激するいわゆるオキシダントと呼ばれる酸化物質を形成します。

この現象を光化学スモッグといいますが、これがどうして発生するかはっきりした結論は、まだだされておりません。

また、学校などに局地的に発生するのもどういうことだのか、これもはっきりしておりません。

○日射が強いとき
○気温が高いとき
○風の弱いとき
○比較的乾燥しているとき

これらのことが、かさなると光化学スモッグが発生しやすくなります。

今月の献立

冷やしそうめん（四人前）

材料

そうめん　四百グラム
ちくわ、きゅうり　各一本
人参八十グラム、卵三個、干しいたけ四枚、白ゴマ大二
かけ汁
しょう油五分の四カップ、さとう大三、酢四分の三カップ、だし汁四分の三カップ、サラダ油大二、ショウガ汁大二

つくりかた

一、そうめんは湯でて、冷やし器にもる。
二、ちくわは熱湯をとうし、卵は薄焼き、しいたけは油でいため人参はさっとゆで、それぞれせん切りにする。
三、そうめんの上に、すりごまをふりかけ、せん切りにした材料を盛りつけ冷やしたかけ汁をそそぐ。

冷やっこ（四人前）

材料

豆腐二丁、トマト二個、きゅうり一本、しょうゆ大二、さとう小一、サラダ油大一、ショウガ汁小一、酢大一

つくりかた

豆腐は適当なかっこに切り、冷水を入れた器に入れる。くし形に切ったトマトと輪切りにしたきゅうりをきれいにもる。調味料（うけ汁）を冷やしてそえる。

お礼

別府市魚川四の過八一三八にお住いの上田正憲氏（仁田之浜出身）より三千円。大阪府枚方市磯島茨原町二十一番四の二四にお住いの山下伍民（大浜出身）より三千円。兵庫県西宮市荒甲子園団地七一一〇七にお住いの菊池岡雄氏（久保出身）より二千円。松山市三津一丁目七の三にお住いの渡辺信明氏（中浦出身）より二千円。福岡県宗像郡宗像町東郷にお住いの山田治藤氏（一見出身）より千円。

それぞれ広報編集の費用にとご寄付いただきました。紙上より厚くお礼申し上げますとともに、健康と活躍をお祈り申し上げます。

人

昭和47年6月末現在
世帯数　2,466戸（－1戸）

人口　9,209人（男4,387人（＋1人）女4,822人（＋5人））（＋6人）

えんむすび

昭和47年6月1日
6月30日

氏名　岸式　木蔭地

お誕生

おめでとう

昭和47年6月1日
6月30日

おくやみ

昭和47年6月1日
6月30日

編集後記

長い夏休みもそろそろ終りに近づきました。

このへんで生活のリズムを整え落ちついた気持で二学期を迎えられるよう、よい子たちに気をくばってあげましょう。

今月号は、夏休みを満喫するよい子たちの表情写真を大きく掲載しました。

また、地籍調査がいよいよ開始され、現地作業がはじまりました。作業能率をアップするには地元のみなさんの協力がなによりです。

ピン、カン類は決まった日に決まった場所へだし、町内美化にご協力ください。

胃の集団検診が実施されます。三十五歳以上のみなさんは全員受診され、早期発見早期治療につとめましょう。

本紙も本号で百四十号に達しました。

町行政とみなさんを結ぶパイプ的役割を果すため、また親しまれる紙面づくりに努力していますが、まだまだの感が大です。

お気付の点や、町内の話題など何でも結構です。（二報ください。　（Y・O）